

TTC 提案山行実施記録表 2013年 12月11日 報告者:江淵 (1/2)

山行名	足和田山(五湖台) [1,355m 山梨県]			
実施日	2013年 12月 7日(土)		日帰り	マイクロバス利用
天候/参加人員	天候:晴れ レベル:★		参加人員: 13名(男6名/女7人)	
パーティスタッフ	GL/計画:、SL:、会計:、救護:、写真:		スタッフ名削除	
参加メンバー	A班 ☆ B班 ☆ C班 ☆		参加者氏名削除  計13名	
費用	(内訳)			
一人当たり	<マイクロバス(stattレスタイヤ装着)レンタカー費用>:28,455+3,150=31,605円 <運転謝礼>18,000円			
5,300円	<燃料代> 走行距離(225+50)km/(5km/ℓ)/(@135-ℓ)=7,425円			
(温泉入浴利用金 ¥630円を含む)	<有料道路代>東名(厚木-御殿場/中型車 ETC 通勤割)往 850+復 850円)1,700円, 東富士有料道路(須走-富士吉田間往復/ETC 休日割 520円 x2)1,040円/高速料金計:2,740円			
カンパ金 940円	<入浴代> 紅富士の湯 @630×13=8,190円 (クーポン割)/費用計:67,960円 <集金(@5300×13)>68,900円-<支出計>67,960円=<残金(カンパ金)> 940円			
歩行・		歩行時間	休憩時間など	行動時間
	ガイドブック	2:55	—	—
	計画	3:10	1:05	4:15
	実行	3:50	1:40	5:30
				行動時間比(実行/計画) 1.29 歩行時間比(実行/計画) 1.21 歩行時間比(実行/ガイドブック) 1.31
実行コースタイム記録				
体操、トイレ 0:15 0:20 ヨーカド-前==厚木 IC==御殿場 IC==富士吉田==道の駅かつやま—— 一湖台(羽根子山) —— 天神社— 6:30 8:15~8:30 8:45~8:50 9:10~9:15 0:35 0:55 昼食 1:15 展望台・休憩 0:30 体操 —— 段和山 —— 足和田山 1355m——(三湖台 1202m)——紅葉台レストハウス——紅葉台入口==富士吉田= 9:50~10:00 10:55~11:45 13:00~13:30 14:00~14:05 ==山中湖=紅富士の湯==須走==御殿場 IC==厚木 IC==ヨーカド-前 14:40~16:00 18:15				
コースの概要、特記事項、反省事項等				
一週間前の予報は、降水確率 50%で実施が危ぶまれる状態であったが日を追って予報が好転し、3日前には、30%、前日には、20%となり、終いには、快晴となり、絶好の「日だまり山行日和」となった。 一般的なガイドブックや地図などで紹介されているコースは、国道や県道沿いの一本木などから登るコースであるが今回は、スタート前にトイレと体操できる広場を確保したいとの思いで羽根子山ハイキングコースから足和田山を目指す事とし、「道の駅かつやま」を登山口とした。今日の計画は、13時下山という時間的余裕があり、せっかく、この天気を授かった訳ですから 日だまり山行を満喫したいという事で 1) 汗を掻かない程度のゆっくりとした速度で楽しんで歩く。 2) 休憩を多く取り、景色をゆっくり楽しむ。 を主眼にしながら歩く事にした。スタートは、階段で急な登りだが 15分程で羽根子山山頂、通称「一湖台」に着く。眼下に河口湖が広がり、三つ峠山が良く映える。ひと息入れて尾根道を歩きだす。まもなく、天神社が現れる。創建は、807年と由緒あるようだが最近に再建された様で思いの外、立派な社殿である。ここが大嵐地区との分岐になっており、ここから五湖台方面という標識に従って登っていく。 歩いている人は、誰もいなく、落ち葉を踏みしめるサクサクとした心地良い足音とメンバーの話声のみが聞こえる。木洩れ日がやさしく注がれ、右手の樹間からは、あまり見慣れていない奥河口湖がいつも見えている。実に気持ちが良い。歩く事自体が楽しい。将に日だまり山行の真骨頂である。 段和山の山頂と思われる所まで来ると急に左手が開け、神々しいまでの富士山が現れる。ここで3度目の休憩を入れてしばし、眺望を楽しむ。間近から見るせいか、いつも見慣れている富士とは、少し違って剣ヶ峰が少し飛び出しているように見える。ここから1時間程で山梨百名山 足和田山山頂につく。五湖台とも呼ばれ				

る山頂であるが、現在は、樹木に遮られ本栖湖、河口湖しか見えず、さしづめ 2 湖台と言ったところか?しかし、南面は、大きく開かれ雄大な富士山を中心に頗る眺望が良く展望台に上れば南アルプスも見渡せる。ベンチもあり広場の様な山頂なのでここで昼食とする。今度は、樹間から西湖をみながら下山していく。

相変わらず、気持ちの良い尾根道だ。ここで調子に乗りすぎた CL が巻道を進んでしまい本日、一番の絶景ビューポイントである三湖台を通り過ぎてしまい、メンバーに指摘された時には、5~6 分坂を戻らなければならぬ破目に陥りました。

しかし、メンバーの皆さんが「紅葉台でいいよ」と言ってくれて先に進む事になり、レストハウスの有料展望台(150 円)に全員が上ってくれ「本日、一番眺望」をリカバリーしていただきました。レストハウスの展望台は、さすがに有料だけあって 360 度の大展望で素晴らしい。富士山や湖、樹海は、勿論であるが、南アルプスの白き峰々までもがくっきりと鮮やかだ。とりわけ、白峰三山(北岳、間ノ岳、農鳥岳)と南部の悪沢岳、赤石岳、聖岳が以外な大きさに浮かび上がっていた。30 分程、眺望を楽しみ、下山開始。

ここまでは、車で上がって来る事ができる場所なのですが車道を避け、巻いている登山道を降りる。まもなく「紅葉台」と標識のあるポイントに着くと富士山を眺めるポイントに万葉歌碑が立っている。教養高き TTC のメンバーが解説を試みるも何分、原文のため、2~3 行目から先に進まず、再び下山。

木曾馬牧場まで来ると後は、車道となり 10 分ほどでマイクロバスの待つ紅葉台入口に到着。ガイドブックより 3 割増しの歩行時間で計画より 1 時間遅れの到着であったがまだ 14 時であり、問題なく、その分、充実した山行となった。

計画通り山中湖「紅富士の湯」に立ち寄り、温泉を楽しみ、本厚木には、18:15 に帰着した。誰彼となく、薦めたくなる様な 或いは、誰にも教えずそっとしておきたい様な、宝物のようなコースで、天候にも恵まれ、ゆっくりと贅沢に日だまり山行を楽しむ事が出来ました。

メンバー各位へ

経験の浅いリーダーでしたが皆さんの御蔭で、充実した日だまり山行が出来ました。  
色々、ご協力をいただきましてありがとうございました。

以上